

# 1. 業務概要

## 1.1 業務の背景・目的

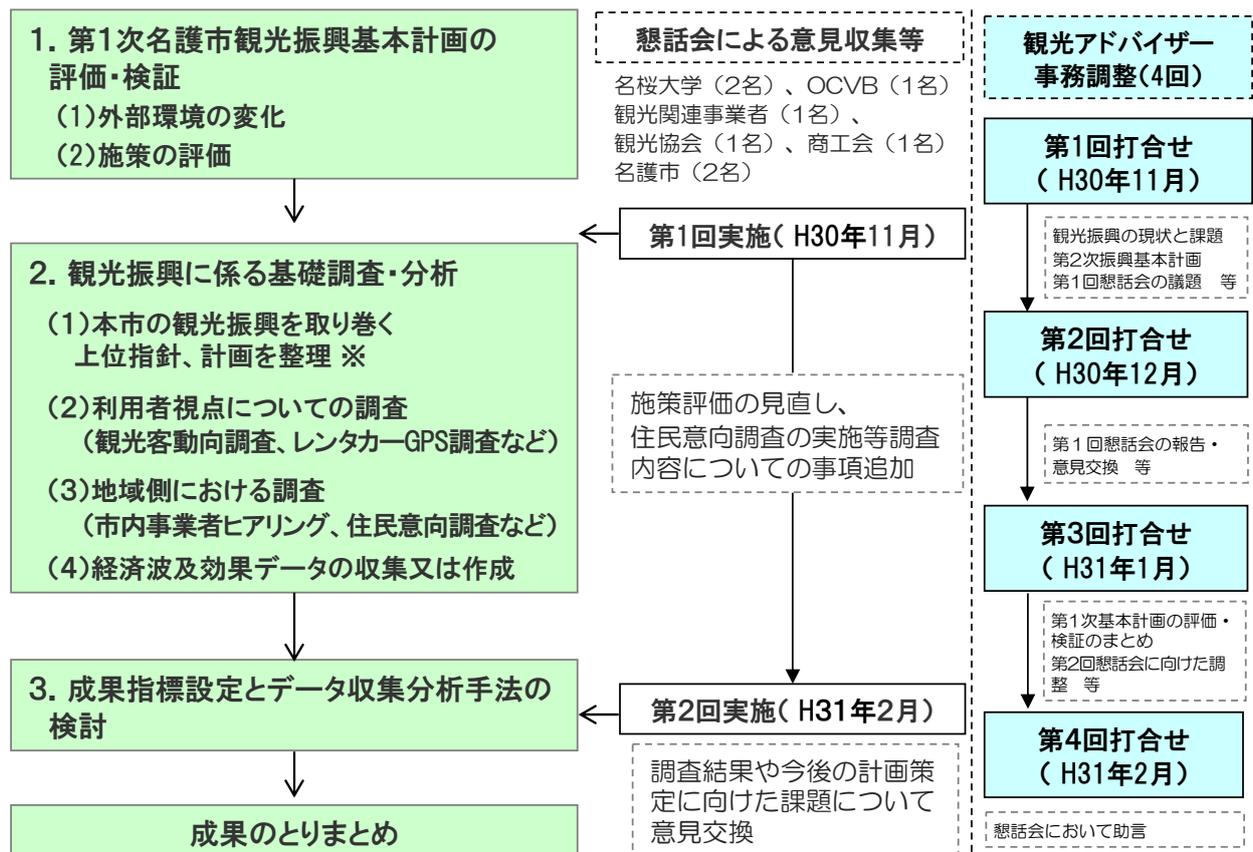
名護市では平成24年度に策定した第1次名護市観光振興基本計画に基づき「自然とまちが融合した魅力あふれる“やんばる観光の拠点・名護”」を基本コンセプトに「既存資源を活用した新たな観光魅力の創出」、「観光プロモーションの推進」、「観光推進体制の確立」を3本の柱として観光政策を展開してきた。

本業務では第1次名護市観光振興基本計画の達成状況について評価、検証を行う。また、第2次名護市観光振興基本計画策定に向けての基礎調査を実施し計画策定にあたっての基礎的な情報の収集を実施する。更には、計画策定後の達成状況を数値化するとともに効果検証を行い、成果指標の設定を行うためのデータ収集及び分析手法について検討を行う。

## 1.2 業務の実施手順

本業務の実施手順は以下の通りである。

図表1 本業務の実施手順



なお、観光アドバイザーは、沖縄県文化観光スポーツ部の制度を活用し、専門的な知識を有する観光まちづくりアドバイザーに依頼し、全国の先進地等の紹介等、大局的な視点から観光について助言をいただいた。

**【観光アドバイザーの紹介】 大西 達也氏**  
 一般財団法人日本経済研究所 常務理事 地域創造業務統括、地域未来研究センター長 兼 調査局長

## 1.3 実施内容

### 1.3.1 第1次名護市観光振興基本計画の評価・検証

第1次名護市観光振興基本計画の評価・検証について、「(1) 外部環境の変化」、「(2) 第1次名護市観光振興基本計画の施策評価」の2つの観点から振り返りを行い、施策効果について検証を行った。なお、第1次名護市観光振興基本計画の評価・検証を行うにあたり第三者機関である「第2次名護市観光振興基本計画策定懇話会」を設置し、以下のア～オについて開催に係る運営を行った。

- ア 第2次名護市観光振興基本計画策定懇話会の招集
- イ 懇話会配布資料の作成及び印刷（2回）
- ウ 懇話会事務局の支援（2回）
- エ 懇話会議事録の作成（2回）
- オ 上記にあげるものの他、会議等運営に必要な事項

### 1.3.2 観光振興に係る基礎調査・分析

#### (1) 本市の観光振興を取り巻く上位指針、計画を整理

国、沖縄県、沖縄観光コンベンションビューロー等が進める関連指針、交通インフラ等の整備計画等を踏まえながら、名護市の観光を取り巻く状況について整理した。

#### (2) 利用者視点についての調査（観光客動向調査、レンタカーGPS調査など）

観光振興基本計画策定の基礎データとなる、観光客の市内の観光施設等への立寄率、平均滞在時間、観光客満足度、観光消費額、宿泊実態、観光関連事業者状況モニタリング、域内調達率等の観光関連データを収集した。ただし、国（地域経済分析システム等）や沖縄県のデータが活用できない場合には、民間事業者のデータの活用や独自データの収集を検討した。

#### (3) 地域側における調査（市内事業者ヒアリング、住民意向調査など）

インバウンド、クルーズ船の受入に向けた地域、やんばるの森世界自然遺産登録への動きなど本市をとりまく北部圏域及び近隣市町村の観光振興に関する現況調査を実施した。

#### (4) 経済波及効果データの収集又は作成

観光振興計画評価の基礎数値となる、本市全域における経済波及効果、各種イベント、祭り等の経済波及効果について、算出の根拠となるデータを収集し、可能な限り経済波及効果を算出した。

### 1.3.3 観光振興の効果検証を行うための成果指標設定とデータ収集分析手法の提案

先進自治体等の事例も踏まえ、市レベルで検証可能な成果指標（例：観光収入、観光消費額、経済波及効果、滞在時間・日数、観光客満足度、市民満足度、市内観光事業所における市民雇用

率等)の設定及びデータ収集分析方法(定量、定性)について懇話会にて検討を行った。

#### **1.3.4 計画の進捗管理手法の検討**

先進自治体等の進捗管理方法を踏まえ、効果的な進捗管理の手法について検討を行い、具体的な方法案を懇話会へ提案し、検討した。また、進捗管理をする際に必要となる各種様式等を作成した。